設計・計画部門



吉田悠佑

生年月 1983年7月京都府生まれ 最終学歷 2009年立命館大学大学院

理工学研究科創造理工学

専攻修了

業務経歴 2009年(株)大林組入社

現在、大阪本店建築事業部 建築設計部副課長

●担当した主なプロジェクト

2012年 神宮会館講堂棟

2015年 日本合成化学工業先端研究棟

2016年 GSユアサ草津事業所

大阪ソーダ総合研究開発セ 2017年 ンター

2020年 GSユアサ京都事業所厚生棟

(予定)

2020年 ホソカワミクロン新大阪工場

(予定)

■青年技術者のことば

建築は、風土や環境と調和した社 会資産としての価値と人々が心地 よく感じるデザインの双方を備え なければなりません。

設計する際、クライアントとの対 話やリサーチを通して、建築や空 間の使われ方、周辺環境との関係 性を大切にしています。

これまで公共性の高い建築のみな らず工場や研究所など、建物内に 入れる生産設備や実験機器を稼働 させる為に必要な機能・性能に対 して設計が必要とされる建築に携 わる機会が幾つかありました。要 求された機能・性能を満足させる だけの建物を「造る」のではな く、日々そこを使う人々が活気や 魅力を感じ、環境とつながる心地 よい空間を想像して建物を「創 る」ことに努めてきました。

幸いにも担当したプロジェクトに おいて、自分が思い描いた空間、 自分が創り込んだ建物が活き活き と使われている情景を見ることが 出来ました。そのような豊かな体 験を数多く実現できるように、今 後も建築と真摯に向き合い、ディ テールまでの各部位一つ一つを丁 寧に創り込みたいと思います。建 築や空間を使う人々、建つ街に喜 ばれ愛されるような、「人や街の 豊かさに寄与できる建築」をこれ からも目指します。

■すいせん者

児玉克史

㈱大林組 大阪本店 建築事業部 建築設計部 部長

神宮会館講堂棟 -神宮にふさわしい「和」をデザインモチーフとした講堂棟-











大阪ソーダ総合研究開発センター - 中庭を核とした立体的な交流の仕掛け-











GSユアサ草津事業所 - 最先端の電池の開発・製造を担う新拠点-





